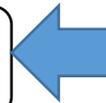


講義テーマ

日本語指導が必要な子どもたちの学力保障
～在籍学級での支援、日本語教室での支援～

講師 京都市教育委員会指導部 学校指導課 副主任指導主事 大菅 佐妃子 氏
山梨県甲府市立大國小学校 教諭 今澤 悌 氏

意欲的に学習を進め、自らの進路を実現する



学力向上

アイデンティ
ティの形成

学力向上のための支援

<日本語指導のプログラム>

- ・ サバイバル日本語 …生活を円滑におくる力 4技能すべての力を付ける必要はない
- ・ 日本語基礎 …発音・文字・語彙・文型の指導 定着に固執しない、活用する場面設定
- ・ 技能日本語 …読み書き、考えを表現する力 自律的に学ぶ力をつける
- ・ 日本語と教科の統合 …JSLカリキュラム 日本語で学習活動に参加する力の育成
- ・ 教科の補習 …在籍学級で学習している教科学習の補習
- ・ 母文化・多文化共生・キャリア教育 …児童生徒のアイデンティティの形成、理解教育

<学習参加ができる授業 具体的な支援方法>

- ①理解支援 視覚化、例示、言い換え、比喩、明示…
- ②表現支援 表現方法、モデル、キーワード、対話…
- ③記憶支援 視覚化、身体化、物語化、反復…
- ④自律支援 自分で学んでいけるように
- ⑤情意支援 意欲的に学んでいけるように

アイデンティティの形成のための支援

<人権教育、国際理解教育の授業>

- ・ 自分のルーツに誇りをもてるように、日常の様々な場面で発信し、認められる(賞揚される)場面づくりを行う

日本語指導を支える体制づくり

- ・ 学級担任、教科担任との連携
- ・ 日本語指導ケース会議



在籍学級を「生きた学びの場」に

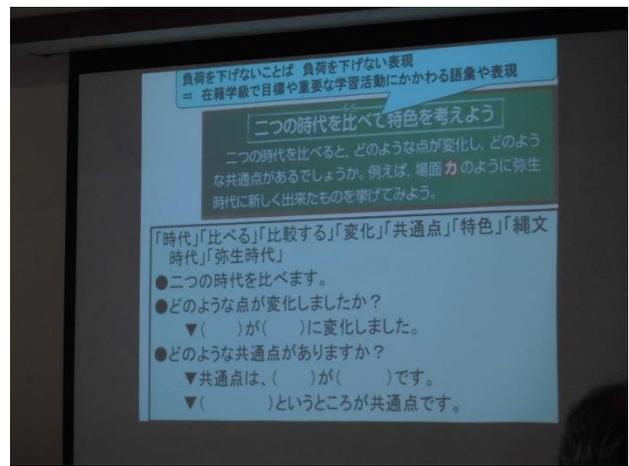
母語で学習済みの内容 → 既習の母国語を日本語に置き換えるだけで○

母語で未習 → 教科としての学習が必要 日本語と教科の統合学習が必要!

<日本語と教科の統合学習 授業づくりのステップ>

- ① 在籍学級の授業の分析、学習内容の決定
- ② 目標の設定
 - ◎ 教科の目標、日本語の目標を考える
- ③ 計画、展開の構想
 - ◎ 計画時期：先行・並行・後行、時数の決定（在籍学級の学習との関わりで）
- ④ 支援（理解支援、表現支援等の工夫）

<中学校 社会科 歴史の授業づくり>



<目標設定、日本語の目標の立て方>

